

平成26年度事業報告書

〔平成26年4月 1日から
平成27年3月 31日まで〕

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの当財団の平成26年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成26年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、下記の特別展やイベント等を開催したほか、施設の改良、展示物の更新等を行いました。

本年度の入館者数については、特別展やイベントの開催情報の提供のほか、新たに制作した地下鉄博物館オリジナルキャラクター（ぎんちゃん・まるちゃん）の「着ぐるみお披露目会・ふれあい会」等を実施した結果、159千名（対前年比2.3%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「営団地下鉄から東京メトロまでの軌跡展～東京メトロ10年を経過して～」

(平成26年6月17日から8月3日まで開催)

営団地下鉄（正式名称：帝都高速度交通営団）は、昭和16年7月、首都東京の地下に鉄道網を整備することを使命として誕生し、日本で最初の地下鉄である銀座線の運営を引き継ぎ、その後新線建設を重ね、平成16年3月までの63年間に7

路線を整備し、銀座線と合わせ8路線の運営を行ってまいりました。

営団地下鉄は、首都東京の地下鉄ネットワークの概成により、その使命が達成され、平成16年4月に株式会社化し、東京メトロ（正式名称：東京地下鉄株式会社）として新しいスタートを切り、平成26年4月には10周年を迎えました。東京メトロは、その間、副都心線を建設し、現在9路線の運営を行っております。

この特別展では、営団地下鉄63年間の歴史を草創期、発展期、充実に分け、また、東京メトロの設立の背景、10年間の取組みについて、開業記念乗車券、各種報告書類、職員の制服等の実物展示のほか、写真パネル等により紹介しました。

イ「有楽町線開業の歴史展～40年を経過して」

（平成26年11月18日から平成27年1月12日まで開催）

有楽町線は、丸ノ内線の混雑緩和を図るとともに、池袋副都心の育成、さらに皇居周辺の都心部の発展拡大に対応するために建設され、昭和49年10月に池袋～銀座一丁目間10.2キロが開業しました。その後順次部分開業を重ね、昭和63年6月に和光市～新木場間の全線が開業しました。

有楽町線は、特に都心部で、多くの既設地下鉄線との交差、大規模構造物や皇居の石垣等と近接する区間が多く、これらに変状を与えないよう慎重な施工が求められました。有楽町線は、最初の開業から平成26年10月には40年を迎えました。

この特別展では、有楽町線開業40年にスポットを当て、建設計画、開業により導入した設備のほか、最初の開業から現在までの施設等の変化、沿線の開発状況等を写真パネル等で紹介しました。

なお、今回の特別展の開催に当たり、江東区をはじめ沿線の関係機関からのご協力をいただきました。

ウ「銀座線車両の技術変遷展」 （平成27年3月10日から4月19日まで開催）

日本で最初の地下鉄（現在の銀座線）は、昭和2年12月に開業しました。その時に導入した1000形車両は、安全性を最優先に設計され、日本初の全鋼製の車体とし、自動ドアや自動列車停止装置など当時の最新技術が採り入れられ、車体の色も当時としては珍しい明るいレモンイエローとしました。その後、導入された車両も同様の設計思想に基づき数々の工夫がなされ、平成24年4月に導入した最新の銀座線1000系車両は、騒音振動を減少させた台車、省電力化したモーター、車内照明にLEDを採用し、さらに昭和2年開通当時の1000形車両を偲ばせるレ

トロ調な外観に仕上げました。

1000系車両は、これらの点が高く評価され、平成25年5月に鉄道友の会が選定する「ブルーリボン賞※」を地下鉄車両として初めて受賞しました。

この特別展では、戦前に造られた1000形や100形車両、戦後に造られた数々の地下鉄車両、その後大幅に近代化された01系車両、さらには1000形車両のDNAを受け継いだ1000系車両について、それぞれ製造された時代背景とともに技術の特徴などを模型電車や写真パネル等により紹介しました。

※ブルーリボン賞とは、鉄道友の会（全国規模の鉄道愛好者団体）が走行性能、快適性を新技術により向上させ、合わせて省エネ性も高め、さらに外観等についても高く評価された鉄道車両に贈るもので、昭和33年に制定されました。

エ「東西線開業50周年記念展～5000形車両の勇退とともに」

（平成26年12月2日から平成27年2月1日まで開催）

東西線は、都心から東京都南東部の沿岸地域（江東区・江戸川区）を經由して西船橋に至る路線で、鉄道過疎地であった浦安や行徳、原木などの沿線地域の発展に寄与するとともに、並行して走る国鉄（現在のJR）総武線のバイパスルートとしても重要な役割果たしております。東西線の第一期区間として昭和39年12月23日に高田馬場～九段下間が開業してから50年を迎えることから、これを記念して東西線開業の歴史や、当時の車両写真等をパネル等により紹介しました。なお、この特別展は、通常の特別展より小規模な展示として実施しました。

（2）イベントの実施

入館されたお子様やご家族に楽しんでいただけるよう、春休み、ゴールデンウィーク及び夏休みの各期間を捉えて、「館内探検クイズ」、「○×クイズ大会」「電車と競争！パズルに挑戦」などのイベントを行ったほか、新たに制作した地下鉄博物館オリジナルキャラクター（ぎんちゃん・まるちゃん）の「着ぐるみお披露目会・ふれあい会」を実施しました。

（3）教育実習活動

学芸員資格取得のための博物館実習のほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習（チャレンジ・ザ・ドリーム）の受入れ等教育実習活動を行いました。

また、昨年度に引続き東京都市大学附属中学校の要請による企業研究講座の実施

や昭和鉄道高等学校からの要請による職場体験学習の受入れを行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存及び公開

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存しました。また、これまでデータベース化した貴重な資料を活用し、広く一般に公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充のため、内容の更新を行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

本年度実施した主な展示物の改良等工事は、次のとおりです。

- ア メトロパノラマ内の照明器具類の改良（蛍光灯具類をLED化ほか）
- イ アンダーグラウンドシアターの改良（3D映像を見る意匠変更）
- ウ 展示物に対する音声ガイダンスの新設（早川徳次氏胸像前）
- エ その他（地下鉄博物館オリジナルキャラクターの着ぐるみ制作、ドア及び電気錠の改良、非常灯具類の交換ほか）

本年度も地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、多くのお客様にご来館していただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイト等、各種媒体を通じて特別展やイベントの開催等を紹介しました。また、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進しました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホール及び駅のコンコースにおいて、メトロコンサートを次のとおり5回開催しました。

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
地下鉄博物館	H26.4.19	第58回“ピアノで奏でる名曲の数々” 出演者：塩田 純子氏（ピアノ：ドイツケルン在住）	391名
	H26.9.6	第59回“ギターとフルート・チェロのアンサンブル” 出演者：マルティン・ケルバーファミリー マルティン・ケルバー氏(ギター)、伶音・ケルバー氏(チェロ・歌)、由美子・ケルバー氏(フルート)（南ドイツ在住）	268名
	H26.12.13	第60回“クリスマスファミリーコンサート” 出演者：ララ・カンツォーネ	392名
	H27.2.14	第61回“鳥たちの歌声コンクール” 出演者：児玉ゆかりと Singing - Birds	263名
駅	H27.1.30	ステーションコンサート in 渋谷 “弦楽五重奏及び金管五重奏” 出演者：東京藝術大学音楽学部学生及び院生	853名

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者の募集を行い、28,010名の応募者の中から厳選のうえ、2,000名を招待し、東京芸術劇場において、次のとおりコンサートを開催しました。

・第9回「メトロポリス・クラシックス」コンサート（平成26年7月26日開催）

創立10周年を迎えた東京メトロの協賛で送るスペシャルプログラム“華麗なる名曲の祭典”

出演：東京都交響楽団メンバーほか

来場者1,673名

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を次のとおり8か所で開催しました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者数
57	H26.5.29	社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム塩浜ホーム 出演者：ララ・カンツォーネ	68名
58	H26.6.26	社会福祉法人恩賜財団 慶福育児会 特別養護老人ホーム麻布慶福苑 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	95名
59	H26.7.2 新規施設	社会福祉法人奉優会特別養護老人ホーム白金の森 出演者：ララ・カンツォーネ	104名
60	H26.9.9 新規施設	公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	132名
61	H26.11.5	社会福祉法人賛育会東京清風園 特別養護老人ホーム 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	98名
62	H26.11.25	筑波大学附属視覚特別支援学校 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	21名
63	H26.11.27 新規施設	社会福祉法人多摩同胞会特別養護老人ホーム かんだ連雀 出演者：ララ・カンツォーネ	23名
64	H27.1.28	社会福祉法人邦友会特別養護老人ホーム 新宿けやき園 出演者：東京都交響楽団メンバーほか	57名

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、駅構内等に展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品の募集を当財団のホームページやメトロニュース等で行った結果、9,427点の応募がありました。3名の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

- ・ 第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成26年10月4日から10月15日まで）
 - 優秀作品（特選） 30点を銀座駅コンコースに展示
 - 優秀作品（特選を除く。）270点を日本橋駅コンコースに展示
 - ・ 第二次展示（平成26年10月17日から10月24日まで）
 - 奨励賞作品300点を日本橋駅コンコースに展示
 - ・ 第三次展示（平成26年10月28日から11月9日まで）
 - 優秀作品及び奨励賞作品の600点を地下鉄博物館に展示
- 審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）
 小野孝一氏（現代童画会常任委員）
 川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり2回開催しました。

また、撮影作品の中から選考のうえ、日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 写真の部」として展示しました。

- ・ 第34回 写真教室及び撮影会（平成26年5月17日開催）
 - 場 所：浦安駅周辺～フラワー通り～浦安市郷土博物館
 - 応募者数 80名 参加者 43名 （定員50名）
 - 講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）
 - 作品展示：82点を展示（平成26年7月19日から7月28日まで）
- ・ 第35回 写真教室及び撮影会（平成26年10月18日開催）
 - 場 所：神楽坂界限
 - 応募者数 138名 参加者 42名 （定員50名）
 - 講 師：同 上
 - 作品展示：82点を展示（平成27年1月17日から1月26日まで）

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を春と秋の2回、当財団のホームページやメトロニュース等で行いました。応募された作品の中から優秀作品（6編）を選び、電車内のポスターに掲出し、入選作品（20編）とともに、「写真の部」と同時に日本橋駅コンコースで「メトロ文化展 文学の部」として展示しました。

・第19回（平成26年4月1日から5月31日まで募集）

応募数：243編（163名）

選者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品掲出：優秀作品6編（平成26年7月1日から12月31日まで電車内のポスターに掲出）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編（平成26年7月19日から7月28日まで日本橋駅のコンコースに展示）

・第20回（平成26年10月1日から11月30日まで募集）

応募数：172編（132名）

選者：同上

作品掲出：優秀作品6編（平成27年1月1日から6月30日まで電車内のポスターに掲出）

作品展示：優秀作品6編及び入選作品20編（平成27年1月17日から1月26日まで日本橋駅のコンコースに展示）

(5) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を次のとおり2回開催しました。

ア 第24回 歴史教室・歴史散歩（平成26年11月15日開催）

場所：江戸の物流跡を歩く（木場・門前仲町界限）

応募者数 115名 参加者 39名（定員50名）

講師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第25回 歴史教室・歴史散歩（平成26年11月22日開催）

場所：同上 応募者数 71名 参加者 47名（定員50名）

講師：同上

(6) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示は地元豊島区と当財団が分担して行い、当財団については、次のとおり展示を行いました。

展示期間	展示内容
H26.5.31 ～6.29	平成25年度における東京藝術大学美術学部・大学院美術研究科の「卒業・修了作品展」の中で、優秀賞に選ばれた方の4作品
H26.8.1～8.28	「江戸の滝」と題して見た目に涼しい滝の景観を描いた5作品 ・歌川芳宗：「十二荘菖蒲の図」大判錦絵 ・歌川広重：名所江戸百景「王子音無川堰止 世俗大瀧ト唱」 「王子不動之滝」「目黒千代が池」 ・葛飾北斎：「諸国滝廻り 東都葵ヶ岡の滝」
H26.12.27 ～H27.1.29	「江戸の松」と題して様々な名木や正月の一場面を描いた5作品 ・歌川国輝：「春の明ぼの」大判錦絵三枚続 ・歌川広重：名所江戸百景「上野山内月の松」「八景坂鎧掛松」「小奈木川五本松」「千束の池袈裟懸松」

(7) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行いました。

パブリックアートは、現在、副都心線西早稲田駅に2作品、北参道駅に1作品及び有楽町線豊洲駅に1作品の合計3駅4作品を設置しています。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。本年度は、擬人化した動物たちの行動をユニークなイラストによって表現し、キャラクター「ミテルちゃん」がまわりのお客様の声を代弁するポスターとしました。

なお、本年度は、過去に掲出したマナーポスターを「マナーポスター展～10年の軌跡～」として銀座駅コンコースに平成26年9月9日から9月23日までの間、展示しました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史及び役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を15万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ主要駅に常置し、配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に、参加者を募集し、施設見学、地下鉄博物館でのセミナー等を行う「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第14回鉄道教室（平成26年8月23日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館

内 容：施設見学（駅員、車掌及び運転士の仕事、職場の仕事等）

セミナー ①「日本で最初の地下鉄物語」②「鉄道を利用するマナー」

駅員・乗務員との意見交換会

応募者数 497名 参加者 82名 （定員100名）

(4) 啓蒙用グッズ類の配布

交通道徳宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

4 本館建物の建替について

耐震化を図るための本館建替につきましては、当初の予定どおり工事は順調に進み、平成27年1月31日に竣工し、2月23日から新本館において業務を開始しました。

【本館建替工程】

- ・既存建物解体 平成25年8月～平成25年12月
- ・新本館建築工事 平成26年1月～平成27年 1月
- ・工事中の仮移転 平成25年7月～平成27年 2月

以 上

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 平成26年度第1回（平成26年6月5日開催）

ア 「平成25年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 平成26年度第2回（平成26年6月23日開催）

ア 「代表理事会長の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の審議内容について」報告がありました。

(3) 平成26年度第3回（平成27年2月12日決議の省略の方法による）

ア 「主たる事務所の移転に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

(4) 平成26年度第4回（平成27年3月19日開催）

ア 「平成27年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成26年度定時評議員会（平成26年6月23日開催）

ア 「平成25年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「監事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「定款の一部変更に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成26年6月27日 ・平成25年度事業報告等提出
- (2) 平成26年7月 1日 ・理事、監事及び定款変更届出
- (3) 平成26年9月 1日 ・平成25年度事業報告等修正提出
- (4) 平成27年2月25日 ・主たる事務所の所在場所変更届出
- (5) 平成27年3月24日 ・平成26年度事業計画書等提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成26年6月23日 ・代表理事、理事及び監事重任登記、鵜澤秀行監事退任登記、賀山弘之理事就任登記、吉田茂監事就任登記
- (2) 平成27年2月23日 ・主たる事務所の所在場所変更登記
- (3) 平成27年2月27日 ・新財団建物保存登記
- (4) 平成27年3月 3日 ・新財団建物表題登記

5 役 員

- (1) 平成26年6月23日 ・賀山弘之理事就任
吉田茂監事就任

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	梅 崎 壽
理 事 長	梁 川 卓
専務理事	竹 内 良 治
常務理事	荒 井 邦 雄
理 事	篠 原 新 治
理 事	賀 山 弘 之
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯峨子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	吉 田 茂
監 事	巻 島 豊

(理事 12名、監事 2名)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

川 田 博 之、 小 林 秀 徳、 實 方 健、 鈴 木 章 生
辻 恵 子、 花 上 嘉 成、 平 野 直 樹、 山 田 徹
湯 座 正 和、 若 林 功

(10名)

7 従業員

今期末における従業員数は、32名であります。

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成27年6月

公益財団法人 メトロ文化財団